

令和4年(2022)度 自己点検・自己評価報告書

令和5年3月31日
パナソニック健康保険組合立
松下看護専門学校

参照資料に関して

令和 3 年度資料集をご参照ください。

学校関係者評価委員会当日に、今年度分の※マークの資料をご参照いただけます。

学校の教育理念・目標	令和4年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p>【教育理念】 パナソニック健康保険組合の人間尊重の理念を基本とし、地域住民や健保の被保険者の健康を高め、生命に奉仕できる看護師を育成する。</p> <p>【教育目的】 人びとの生命と健康を守るため、看護の本質を見極め、三重の関心を注ぎつづけることのできる看護実践者の育成を目的とする。</p> <p>*目指すべき人材像 人びとがよりよく生きる。そのために、三重の関心を注ぎつづける</p> <p>【ディプロマポリシー(専門士授与方針)】 人間尊重に基づいた看護を実践する力 Ⅱ. 根拠に基づく個別的な看護実践をする力 Ⅲ. 心身の状態をセルフマネジメントする力 Ⅳ. 看護師として成長し続ける力</p>	<p>1. 教育内容の新構築、学生支援の強化 1-1. 地域包括ケアを見据えた新カリキュラム1年目の実施 1-2. コロナ禍でも学びを止めない教育活動の推進 1-3. ICT環境の充実 1-4. 関連病院との連携強化 1-5. 教育の質の維持にむけた新入教員の育成</p> <p>2. 新たな学生獲得策の実施 2-1. オンラインを活用した広報活動 2-2. 入試回数の適正化</p> <p>3. 数値目標 3-1. 受験者数100名 3-2. 看護師国家試験合格率100% 3-3. 就職後3年定着率80%以上</p>	<p>1は、すべて達成できた。令和4年度より新カリキュラムをスタートしたが、令和元年に教育課程を変更していることもあり、大きな混乱なくスタートをきる事が出来た。また、タブレット端末を使用したデジタル教科書も2年目に入り、コロナ禍で第7波、第8波を迎える中でも、ICTを活用しながらスムーズに学習継続や学生との連絡が出来るようになった。また、新入教員を3人採用することで、定年退職教員が増加しても教育の質が担保出来るように体制を整えた。</p> <p>2は、ほぼ達成できた。来校イベントも昨年度より増やす事ができ、総参加者数・受験生共に前年度を上回った。また、指定校推薦数を増やすなどが功を称し、定員数の新入学生を確保できた。</p> <p>3は、ほぼ達成できた。受験者数は100人には及ばなかったが、在籍率は1年目で90%以上、3年定着率も80%以上継続して超えている。</p>	<p>最重要課題は、18歳人口の減少に伴い、学生確保が困難となることである。そのため、対面に加えICT駆使した広報活動を展開するだけではなく、web出願や入試時期、回数などの検討が必要である。</p> <p>また、2027年度に門真地区への移転を見据えて、バリアフリー化とともに地域に密着した魅力ある学校づくりのために、①特色のある教育内容の発展及び見える化、②国家試験高合格率の維持、③教職員の資質向上、④学校としての将来構想など、より一層の競争力を高めていく。</p>

基準1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総評	特記事項(特徴・特色)	参照資料等
<p>【理念・目的・育成人材像】</p> <p>本校は、昭和48年に准看護師の育成をめざして松下高等看護学院として設立し、その後、看護師不足に対応するために、看護師養成を開設した学校であり、開校以来一貫して、地域社会の医療の向上のために、看護師の養成を教育理念、教育目的にあげ、優秀な看護師の育成をめざしている。</p> <p>育成人材像は、目指すべき人材像とともにディプロマポリシー(専門士授与方針)として標記をし、教育理念、教育目標とともに明文化して周知に努め、その実現に向けたカリキュラムポリシー(教育方針)に基づいて教育課程を編成し、教育活動に取り組んでいる。</p> <p>教育目標・ディプロマポリシーは、時代の状況に応じて常に見なおしをはかり、R 元年から新たなものに改定し現在に至っている。また、これらを文章化し、教職員をはじめ、学生・保護者などにも周知している。また、来校者にも理解をしてもらえるように、校舎の壁にも掲示し</p>	<p>教育理念は、「パナソニック健康保険組合の人間尊重の理念を基本とし、地域住民や健保の被保険者の健康を高め、生命に奉仕できる看護師を育成する。」であり、教育目的は「人びとの生命と健康を守るため、看護の本質を見極め、三重の関心を注ぎつづけることのできる看護実践者の育成を目的とする」としている。目指すべき人材像は、「人びとがよりよく生きる。そのために、三重の関心を注ぎつづける」とし、4 カテゴリー9 項目のディプロマポリシーと共に挙げている。</p> <p>本校の教育活動の特色は、カリキュラムポリシーに明示しているように、ナイチンゲールの提唱する看護(変わらない看護)を通して、学生自身の看護観を育成することに加え、臨機応変に看護実践する力を身につける事である。そのために、学年を超えた学び合い、地域包括支援を視野にいれた授業、可能な限り臨床場面を再現した授業などを積極的に取り入れている。また、全ての看護学領域で健康(保健)と健康障害の両方が学べるように構築し、臨地実習においても地域と病院の両方が体験できるようにしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット ・募集要項 ・入学のしおり P. 9~13 ・シラバス P. 111~232 <p>※R4 年度事業計画書</p>

<p>ている。</p> <p>3～5年後の中期的構想としては、最先端の教育活動を実施する学校としての周知をはかるとともに、多様化する医療の現場においても、看護実践力を伴った看護師を育成することである。R4年度の指定規則改正にともなう教育課程変更により、学校や松下記念病院のある守口市を中心とした地域や多職種との連携・協働など、より一層取り組んでいる。</p>	<p>また、病院実習は、主として同系列の松下記念病院で実施し、急性期医療から緩和ケア・地域包括支援まで、幅広く実習できるようにしている。さらに、産業看護や一次予防の実際を体験するために、健康管理センターでも実習を行っている。</p>	
---	--	--

基準2 学校運営

大項目総評	特記事項(特徴・特色)	参照資料等
<p>【運営方針】 運営方針については、地域住民や健康保険組合の被保険者の健康や生命に奉仕できる看護師の育成にむけて、一貫した方針を挙げている。</p> <p>【事業計画】 パナソニック健康保険組合「経理および財産管理規程」基本規定に基づき、学校長が策定した事業計画案は、理事会の審議を経て組合会の承認を受けるものとする。学校長は、事業計画に基づいた事業運営を推進するとともに、月次の実績と事業計画をつねに対比検討し、部門責任を遂行する。学校長が示した運営方針と取り組むべき課題を受けて、事業計画は課題達成に向け KPI を設定し、重点施策実施項目に責任者を決めて取り組んでいる。年度末には、事業報告書を作成し、達成状況を明らかにするとともに、翌年度の運営方針・事業計画は、年度末の職員会議で全職員へ周知している。</p> <p>【運営組織】 教育理念、目標の達成を目指した学校運営を行うために、組織図の見直し、諸規定の改廃、会議・委</p>	<p>パナソニック健康保険組合は、各種の保険給付に加えて疾病の予防と健康の保持増進を図るため、各部門の事業を通じてパナソニックグループ従業員(被保険者)とその家族(被扶養者)の健康福祉を向上させるとともに、地域社会にも貢献している。また、「健康を高め生命に奉仕する」ことを使命として、先進的な医療、積極的な健康づくりや疾病予防、介護事業など多彩な事業を展開。多くのスタッフがパナソニックグループと地域の人々の「健康」を支えている。</p> <p>また、組織としてリスクマネジメントを行うなど、コンプライアンス体制を整備している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パナソニック健康保険組合プライバシーポリシーP. 233 ・※R4年度事業計画書 ・※パナソニック健康保険組合 職員給与規定 ・※システム等運用管理規定 ・※情報セキュリティ基本方針

<p>員会の開催などを行いその整備に努めている。</p> <p>【人事・給与制度】 設置者であるパナソニック健康保険組合の規定に基づき適切に運営している。また、採用に関しては、同組織内での異動も含めた対応が行われ、適切な人員を確保している。しかし、今後徐々に進む定年退職者の増加に伴う、看護教員の採用が重要な課題である。</p> <p>【意思決定システム】 本校の学校運営は、合議制をとり透明性を確保し、円滑に機能するようになっていることから、意思決定システムは適切であると評価する。</p> <p>【情報システム】 システムのメンテナンス及びセキュリティ管理についてはパナソニック健康保険組合の中にある「情報システム」部門と連携し、各種のシステム化により、教職員の勤怠・フォルダの共有化など業務の効率化を行っている。また、学生情報(個人情報)の機密性を重視し、セキュリティ体制を考慮したシステムを導入して管理している。</p>		
--	--	--

基準3 教育活動

大項目総評	特記事項(特徴・特色)	参照資料等
<p>【目標の設定】 教育課程の編成において、教育理念・目的・目指すべき人材像(4 カテゴリー9 項目のディプロマポリシー)を明文化している。教育目標達成のため、シラバスにはカリキュラム構造として当校独自の分野設定についての考え方や各科目概要など、学生に伝わるよう明示している。また、分野・ディプロマポリシーとの連関や各科目の位置づけ、学習の流れを示したカリキュラムデザインを作成し、入学から卒業までをイメージできるようにしている。R4年の省令改正に伴う教育課程では、3年間で106単位、3050時間の全単位取得をもって卒業要件としている。ナイチンゲール看護論を教育の基盤とし、社会の現状と多様な医療現場に即したカリキュラムとして構築しており、松下記念病院を中心とした地域に根差した看護師育成を実践している。</p> <p>【教育方法・評価等】 授業は、単に知識・技術を強化するだけでなく、自分で自分を成長させる人になることを目標に掲げている。意志ある学びを実現させるプロジェクト学習、</p>	<p>教育課程の編成及び実施方針として、次のことを重視している。</p> <p>(1)本校は、社会に貢献できる看護師を育成するという教育理念・目的を持った学校であることから、保健師助産師看護師養成所指定規則及び指導ガイドラインに則った教育課程編成を行う。</p> <p>(2)初学者である学生を実践者として臨床現場へ送り出すことを重視し、ナイチンゲール看護論を基盤とし、3重の関心を重ねて注げる人材の育成を目指す。</p> <p>(3)教育理念や教育目標の達成を意図し、3学年での交流を大切にしながら編成している。また、過密カリキュラムにならないよう配置している。</p> <p>(4)実践的な学びを支援するために、臨床との連携を密にし、同組織内にある松下記念病院の医師や看護師に講義を依頼し、専門性を重視した教育を行っている。臨地実習において</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学のしおり P. 9～36、 ・ 諸規定 P. 89～93 ・ シラバス P. 111～232 ・ ※授業アンケート結果 ・ ※実習施設概要

OSCE など、対象の状況や状態への判断能力を強化するため、同組織内の看護師と一緒にシミュレーション教育などにも取り組み、実践的な学びの充実を図っている。また、経験や地域から学ぶ事を大切に、フィールドワークを多く取り入れた授業構築をしている。実習においては、1年生の早期から、訪問看護ステーション・外来などで実習を行い、地域での看護を学ぶことを取り入れている。さらに、3年生の最後の実習では、1年生を支援しながら看護実践を行う実習を取り入れ、双方が学びあうことで成長することを目指している。

教科終了毎に、教育内容や教育方法について、学生へのアンケートを実施するとともに、年度末には講師会を開催し、学生や教育の現状について共有し、よりよい教育に向けた改善を心がけている。

【成績評価・単位認定】

学則、および履修規定に則り実施している。

【資格・免許の取得の指導体制】

卒業に向けての単位習得のための学習支援をおこないながら、一年次からの国家試験対策を取り入れ、定期的な模擬試験で学力を把握し、学習支援を行っている。その結果、過去 10 年間の国家試験合格率は、99%となっている。

は、病院、介護老人施設、訪問看護ステーション、健康管理センター、こども園、特別支援学校、産前産後ケアセンターなど、多様な施設を活用しながら行っている。

新型コロナウイルスの感染拡大も 3 年目となったが、感染状況に伴い授業や実習の変更が余儀なくされることがあった。オンライン授業やハイブリットでの授業、実習の期間短縮・学内実習への切り替えなどの対応をしたが、今年度はコロナ禍においても社会の動向に合わせ、感染拡大予防を実施しながら極力対面授業や演習などを通常通りに行っていくよう調整を行った。学内でのクラスター発生はない。

大手の国家試験予備校と連携するとともに、教員用の分析会も開催し、各看護学領域で対策を取りながら、学習支援を行っている。

【教員・教員組織】

看護教員資格を備えた教員を定員以上に確保し、看護や教育の本質を継続的に探究するとともに、教育力の強化や資質向上のために学会・研修会などへの参加を促すとともに、他の組織の研修会講師などへの協力も推進し、より質の高い教育を実践できるよう努力している。また、毎年、授業研究を実施し、教育内容及び方法の充実に努めている。

徐々に進む定年退職教員の増加に伴い、令和4年度から3名の看護教員を新規採用した。本校の教育理念や教育内容について理解できるような環境を整え、教育の質の維持・向上に向けた育成が重要な課題である。

基準4 学修成果

大項目総評	特記事項(特徴・特色)	参照資料等
<p>【就職率】 本校は、地域住民やパナソニック健康保険組合の被保険者の健康を高め、生命に奉仕できる看護師の養成を教育理念にあげていることから、看護師国家試験に合格し、病院をはじめとする医療機関への就職率は学修成果の1つと考え、就職率は100%を目指す。 2年時早期から就職ガイダンスをはじめ、自分の「なりたい看護師像」を実現するための就職活動のアナウンスをしている。</p> <p>【資格・免許の取得率】 国家試験担当者を中心とし、各学年担任との連携において、国家試験対策を1年次より行っている。学習成果として、模擬試験を行いながら成績の分析を行い学生一人一人に対して学習面・精神面のサポートを継続的に行っている。 3年次は4月から国家試験オリエンテーションや個別面談を行い継続的な学習支援とともに業者・教員に</p>	<p>パナソニック健康保険組合の同系列である松下記念病院より毎年、就職説明会が行われており、松下記念病院の概要、処遇説明、教育体制などの説明や現職の看護師による体験談などを行い、就職に対するイメージがつくような取り組みを行っている。また、記念病院における卒業後定着率の向上を目指し、看護基礎教育と継続教育の継ぎ目のない教育を実施し、松下記念病院看護部との教育連携を行っている。 R4年度の就職率は100%であった。</p> <p>看護師国家試験合格率は、過去10年以上、常に全国平均を上回っており、R4年度も、100%の予定である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カムバックデイ案内 P.234 ・※検討会・WG 名簿

よる国家試験対策授業、模擬試験、学校の開放、今年度は特に入学前教育だけでなく、入学後にも e ラーニング教材など、学生の主体的な学習習慣の強化となるよう活用している
また、外部業者と提携し、1 年次には解剖生理学、3 年次には国家試験対策の集中講義を行っている。

【卒業生の社会的評価】

卒業後 1～3 年目の様子に対しては、看護部との教育連携により動向把握に努めている。また、松下記念病院以外の病院に就職した学生達の状況については、年に1～2回卒業年度別に近況を報告するカムバックデイの機会を設け状況把握に努めている。
また、卒業生の学会活動や発表、講演、執筆活動などの情報も看護部から得ている。
今後、卒業生の活動状況をより把握できるようにするため具体的な取り組みを検討する。

卒業生の活躍を本校ホームページで紹介、オープンキャンパスでは卒業生を招き、学校紹介と現在の活動について伝えてもらっている。また、卒業生が来校したときには同じ進路を志望している在校生に対する相談を受けてもらっている。
R4年度のカムバックデイは、オンラインと対面のハイブリッド式による開催とし、約 8 割以上の卒業生が参加し、厳しいコロナ禍でも奮闘している様子の把握ができた。
今年度は、卒業生が演習等の授業に参加してくれ、患者役・看護師役を通して学生の学びを支援してくれている。また、看護科学研究学会における研修会に事例提供者として参加しており、参加者からの評価とともに、実際の成長の様子をみる事ができた。

基準5 学生支援

大項目総評	特記事項(特徴・特色)	参照資料等
<p>【就職など進路】 就職担当教員が主となり、学生の希望や適性をふまえた進路相談や就職指導を実施している。担任・副担任は、学生からの相談に応じ、きめ細やかに将来の目指したい看護師像に向けた進路相談を実施している。同組織の松下記念病院の担当者による就職ガイダンスや外部委託会社による就職セミナーなどを開催し、適切な就職活動への支援・指導を実施している。</p> <p>【中途退学への対応】 退学の兆候としての欠席率や、健康手帳に記載されている心身の不調について確認を行い、兆候の見える学生には面談を行ったり、スクールカウンセラーの紹介を行ったりしている。また、教務会議などで学生の状況を共有し、全教員が退学率の軽減に向けての意識を持つことができおり、R4年度の退学率は0.85%であった。</p> <p>【学生相談】 外部よりカウンセラーに月2回程度来校してもらい、個室完備のもとで希望する学生のカウンセリングを実施し</p>	<p>本校は同組織である松下記念病院に約8割の学生が就職を希望するため、パナソニック健康保健組合の人事部や看護部と連携し、就職ガイダンスを開催している。その一環として、卒業生から就職後の様子を聞く機会を設け、卒業後の社会生活を具体的にイメージできるようにしている。また、認定看護師や専門看護師を学校に招き、学生自身のキャリアについて考える機会となるように実施している。</p> <p>退学理由のほとんどは進路変更であるが、看護師になりたいというはっきりとした意志をもって入学する者がほとんどであり、退学する学生は非常に少ない。令和4年度の卒業生も90%以上である。</p> <p>学生との連絡用に、学校・学生専用のメールアドレス設定に加え、グローバルシェアポイン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2022年度第2学年年間計画(就職活動計画) P.235 ・ カウンセリング日程 P.236 ・ 学生募集要項 ・ 保護者会開催案内 P.237 ・ 諸規定 P.99～100、105～106 ・ ※奨学金貸付契約書

ている。日程については学生が確認できるように掲示板に張り出し周知されている。相談内容については適宜学生ので承を得て教務に共有され、必要時は対策を検討するなどの対応をとっている。

また、学生専用のメールアドレスを設定しており、何か質問などがあればいつでも自由にメッセージを送れる状態になっている。

学年毎に窓口としては担任・副担任が相談役となっているが、あえて細かな役割は作らず、どの教員にでも相談できる状況をつくっている。

【学生生活】

3年間の学生生活が有意義なものとなるよう各種支援を行っている。パナソニック健康保険組合による奨学金貸付制度を設けており、返済方法も含めて学校ホームページやパンフレット、入学前のオリエンテーションでも紹介し情報提供している。また、松下記念病院からの特別奨学金制度を設け、安心して学生生活を送れるよう支援をしている。また、公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談があれば適切に対応している。

学生の健康管理に関しては、年に1度の健康診断の他、感染症抗体検査を実施し、必要時には予防接種を受けるよう調整を図っている。学校には保健室を設置している。

学生寮の設置はないが、遠方から通学する学生が授業等に参加できるよう、時間設定の配慮などを行っている。

ト(パナソニックのオンライン情報共有システム)を使用し、授業や課題のみに限らず、質問なども受け付けることが可能となっている。学習する習慣をつけるよう考慮するとともに、コロナ禍で不安を覚える学生への対応も実施している。

変化する社会の中でも学業と自身の生活が両立できる、学生が安心できるための相談体制の構築が課題である。

奨学金貸付制度の利用状況は45%である。卒業後、系列病院に就職しない場合には一括返済が定められており、金銭的負担を強いられる学生もいる。必要時、個別での状況に応じて対応している。

看護学生として、自らの健康管理に努める意識を高めるためにも健康診断の結果や予防接種履歴の管理なども学生に自己管理していくよう指導をしている。

友愛祭など、授業や実習で多忙な毎日の中で学生が楽しめる時間を設けている。

課外活動では友愛祭や研究発表など学生が主体となり活動する時間を適宜設けている。

【保護者との連携】

保護者へは、入学時と戴帽式(宣誓式)、及び年度末には保護者会を開催し、学生達の状況を説明するとともに教育活動へのご協力とご理解を求めている。また、公開授業も実施し、普段の学生の様子も見てもらえるようにしている。また、ホームページ上にも保護者の模擬患者協力などを公募している。今後も必要時に保護者との連絡を取りながら、学生が安心して学習活動に専念できるように支援する必要がある。

【卒業生・社会人】

卒業生の支援として、同窓会活動の支援、卒業生の母校訪問を受け入れている。また、本校の教員が連携病院である松下記念病院で必要時に駐在し、病棟でのラウンドを行い卒業生のサポートを行っている。今後も、病院と学校でシームレスな教育ができるようにサポート体制を継続していく。社会人学生への支援は入学前に履修した科目の単位認定を行っている。

コロナ禍の状況を踏まえ、すべて保護者への説明はオンラインで実施した。保護者から模擬患者への応募もあったが、実現には至っていない。また、学生や保護者からのクレームもない。

卒業生が、患者役として演習に参加したり、国家試験対策を実施することにより、身近な卒業生を理想としている学生達も少なくない。

基準6 教育環境

大項目総評	特記事項(特徴・特色)	参照資料等
<p>【施設・設備など】 関係法規に定められた施設・設備・教材を整備している。経年劣化した教材については、優先順位を決め、入れ替えや修理を行い、教育活動に支障がないようにし、最善の対応を図っている。また、Wi-Fi 環境の充実を図り、オンライン授業を可能にしている。図書に関しては、卒業生も図書館を利用することが可能である。施設点検に関しては、専門業者による 2 回/月巡回点検・報告を実施している。防犯に関しても、玄関がオートロックになっており、夜間は機械警備が行われている。</p> <p>【学外実習・インターンシップ等】 関係法令に則り、学外実習(以下、臨地実習)を行っている。臨地実習は、学生の看護実践力を育成するために重要な科目であり、学修成果の向上を目指して、実</p>	<p>・実習室:学生 4 人に 1 人のベッドを設け、実習病院である松下記念病院と同じ様式にし、スタッフステーションを備えている。また、在宅看護実習室には、リフトなども常設している。</p> <p>・シミュレーション教育の充実を目指して、多職種連携ハイブリッドシミュレータやフィジカルアセスメントモデルなどのシミュレーター、心電計などを常備している。</p> <p>・図書室の蔵書数及び雑誌の種類は法令の規定以上に揃えている。</p> <p>・2027年の建て替えで松下記念病院に隣接し、バリアフリーなどユニバーサルデザインに加え Panasonic グループとして環境にも配慮した建築物に向け検討を開始した。</p> <p>臨地実習指導者会では、運営担当者をあらかじめ決め、その担当者達と年間目標と予定を決め、「看護を学べる臨地実習指導」にする為</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎配置図 P. 40～42 ・ 災害時対応マニュアル P239～256 ・ 入学のしおり P. 37～78 ・ 「Will」学生用パンフレット ・ ※施設点検資料 ・ ※消防設備点検資料 ・ ※図書台帳 ・ ※リスクマネジメント委員会資料

<p>習環境を整えている。</p> <p>実習施設は、実習指導者の配置を始め看護基準の作成・活用、看護職員の継続教育の実施、看護用具の整備など実習施設よしての条件を具備することが必要であり、各実習施設と調整を行い、よりよい学びが出来るための実習施設の確保に努めている。</p> <p>また、実習指導の質を向上させるには、実習指導者の理解と育成が大切と考え、毎月、実習指導者会を行っている。また、当校教員も実習指導者用の講義を実施（4回/年）し、記念病院の指導者の育成を看護部と一緒にに行っている。さらに、教育の本質を考える研修会を合同開催し、臨床指導者と教員と一緒に学ぶ機会をつくっている。</p> <p>インターンシップについて、企業や医療機関等から案内があれば、学生に周知している。</p> <p>【防災・安全管理】</p> <p>防災計画・消防計画、マニュアル整備については、消防計画を作成し、消防署へ届け出を行い、看護学校災害時対応マニュアルも作成し、運用している。消防署・業者の定期的な校内点検を行っており、管理が必要な物品は施錠管理にて安全管理に努めている。また、パナソニック健康保険組合が運用している安否確認ア</p>	<p>に、お互いがどのように学生に関わればいいのかを検討している。R4年度は、コロナ禍の影響で、紙面開催やオンラインも活用して実施した。</p> <p>また、新採用教員の臨地での研修（訪問看護ステーション、精神医療センター、松下記念病院）での短期研修を実施。未体験領域の看護実践を知ることで、看護実践能力の向上に寄与できた。</p>	
---	--	--

<p>プリにも全学生と教職員が登録し、定期的に安否訓練を行い、返信の訓練も行っている。</p> <p>また、学生・教職員を対象に毎年、避難訓練をおこなっている。学生には、入学のしおりを使用して、災害時の備えや避難場所についてのオリエンテーションを実施している。</p> <p>さらに、松下記念病院では、学生の避難食・水分も確保されている。学内では、学生それぞれに水分や食糧の確保を行ってもらうように周知している。また、学生は、総合保障制度に加入し、登下校時や学内・実習先での障害・賠償・感染等の補償対応が可能となっている。</p> <p>コンプライアンスやハラスメントに関しては、パナソニック健康保険組合の「リスクマネジメント・コンプライアンス推進」事業に則り、ハラスメント研修の実施やホットラインの周知徹底を実施している。</p> <p>また、防犯の観点からは、警備会社と契約し、夜間の機械警備をしている。</p>	<p>防災に関して、オリエンテーションや災害の講義のなかでも、折にふれ、災害の備えへの意識を継続して(学生・教職員ともに)持ち続けられるように年間計画を作成している。</p>	
--	---	--

基準7 学生募集と受け入れ

大項目総評	特記事項(特徴・特色)	参照資料等
<p>【学生募集活動】</p> <p>本校は、事務、教員、学生からなる広報委員を置いている。オープンキャンパスやパンフレット、ホームページ等の広報活動においては、学生の協力度が高く、学生の雰囲気を受験生確保につながっている。学内開催のオープンキャンパス、イブニングガイダンス(今年度は放課後オープンキャンパスに変更)指定校を対象とした指定校イベント、公開授業を毎年定期的に開催している。状況に応じて、希望者には個別に学校案内も実施している。</p> <p>募集活動に際しては、入学希望者に公平に情報提供ができるように心がけており、タイムリーに情報提供できるように HP の充実を図ることを継続し、今年度は SNS の導入や教職員による高校訪問を再開し、情報交換を行っている。</p> <p>本校は、将来看護師としての職業選択に直接結びつく教育機関であることから、業者や高等学校の依頼による出前講座、進路相談会に積極的に参加し、職業としての看護師、看護大学との違いや本校の特徴などを説明している。</p>	<p>R4 年度より、松下記念病院の企画経営室との連携(会議、分析、相談)をもち、LINE の運用が開始となった。</p> <p>受験生は、オープンキャンパスの参加者の受験率約 45%(昨年とほぼ変動なし)であり、在校生や卒業生と関係する受験生も例年と変わらず多い。</p> <p>R4年度は、オンラインでの実施に加えて、コロナ禍の感染対策を行い、対面でのオープンキャンパスを実施した。放課後オープンキャンパスでは、ハイブリッド型での開催も実施したが、公開授業は実施できなかった。その結果、参加者総数は 286 人(令和 3 年度 224 名)であった。</p> <p>また、指定校推薦校数を増やし、教員が個別に高校訪問を再開したことも効果があり、受験者総数は、前年度を若干上回る 98 人(令和 3 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 募集要項 ・ ※資料配付高校一覧表 ・ ※入学選考内規 ・ ※R4年度事業計画書

<p>【入学選考】 入学選考にあたっては、入試形態毎の募集要項の選考方法に基づいて実施している。また、アドミッションポリシーに則って、筆記試験の成績と面接による評価を総合的に判断し、入試判定会議において学則、入学試験規定に基づき合否判定を協議し、公平に審査を行っている。入学選考についても毎年、教職員会議および学務会での見直しを行っている。入試に関するデータは蓄積管理し、学生指導に活かしている。</p> <p>【学納金】 学納金や在学中に必要な費用については、募集要項にも詳細を明示するとともに、保護者会等でも施設整備費や実習費などの使用用途を説明している。授業料は、納付時期を入学後にしているため、入学辞退者への問題が発生しないようにしている。</p>	<p>度 95 名)となり、令和 5 年度の入学予定者 42 名を確保できた。</p> <p>アドミッションポリシーに則って、指定校入試、公募入試、AO 入試、一般入試を行っている。また、面接時のポートフォリオの活用など、特色ある入試形態をとっている。また、左記のように公平、厳選に審議し、決定しているが、入試ごとの合格点、合格者数、筆記試験と面接の割合などの公表はしていない。開示を求められた場合、内規に基づいて行うようにしているが、前例はない。</p> <p>4か月毎の振り込みであったものを、R3年度から郵便局からの引き落としに変更。それにより、納付遅延は減少し、R4 年度も問題は発生していない。</p>	
--	--	--

基準8 財務

大項目総評	特記事項(特徴・特色)	参照資料等
<p>【財務基盤】 本校は、パナソニック健康保険組合を設置者とした学校運営を行っており、学校単独では年度計画予算に基づき月次ごとに収支管理を行っている。財政基盤においては、パナソニック健康保険組合の安定した財務基盤により、入学希望者の所得状況に加え、老朽化校舎への修繕費に支出が必要な状況もあるが、学校単独の収支状況には影響なく運営が行える状況にある。</p> <p>【予算・収支計画】 予算編成については、パナソニック健康保険組合のひとつの事業部門として位置づけられており、中長期的計画に基づき方針・計画を立て、運営方針に基づいた計画と合わせて整理する仕組みとなっており、教育目標などの学校運営方針と整合性を保っている。</p> <p>【監査】 会計監査等についても、パナソニック健康保険組合の経営管理部が主管し、パナソニック本社により定期的な監査を受けている。(内部監査・外部監査、会計監査・事業監査)</p>	<p>本校の財務については、パナソニック健康保険組合のひとつの事業部門として管理されており、学校という特殊性から収益部門としてではなく、人材確保、人材育成の役割を担う部門として評価され運営している。一方で、学校の独自性も保ちながら、学校運営で必要となる事業計画上の支出については、学校の運営会に委任されている。</p> <p>また、会計に関する規定はすべてパナソニック健康保険組合として対応している。そのため、予算管理、実績管理についても一定のルールとチェックの元に日常管理されており、問題なく運営されている。</p> <p>今後、5年度の建て替えに向けて、財政基盤の強化が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ※R4年度事業計画書 ・ ※監査報告資料

【財務情報の公開】

財務情報の公開は行っていない。健康保険組合において財務諸表などの公開については積極的な対応が行われていない状況にあり、その一環として広く公表を行っていない。

基準 9 法令遵守

大項目総評	特記事項(特徴・特色)	参照資料等
<p>【関係法令、設置基準等の遵守】 関係法令及び専修学校設置基準、保健師助産師看護師法や同法施行規則・指導ガイドラインに基づいた学校運営が行われており、毎年大阪府に報告している。学校運営に必要な規則・規定等も整備され、教職員は日々の運営に関してこれを遵守するように努め、学生にも関係する規定を遵守するよう徹底している。</p> <p>【個人情報保護】 パナソニック健康保険組合の「パナソニック健康保険組合プライバシーポリシー」に基づき個人情報保護の実施を行っているが、日常業務においての個人情報の取り扱いについては、個人の責任に任されている部分も多いため、教職員全員に個人情報保護についての啓発と周知徹底を継続していく。 学生の実習などで得る看護の対象者の個人情報管理は、実習要綱の規定により定め、実施を徹底している。</p> <p>【学校評価】 専任教員・非常勤講師の指導力・資質向上のために授業評価に取り組んでおり、より充実した授業となる</p>	<p>本校はパナソニック健康保険組合立であり、その事業計画に則り、組織の体制を整えている。</p> <p>パナソニック健康保険組合立である本校は、パナソニック健康保険組合の「パナソニック健康保険組合プライバシーポリシー」に基づき、個人情報管理を徹底している。</p> <p>授業評価アンケート結果や自己点検・自己評価、学校関係者評価を基に、今後の教育改善に努め</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ パナソニック健康保険組合プライバシーポリシーP. 233 ・ ※14条報告資料 ・ ※授業アンケート結果 ・ ※学校関係者評価規定

<p>ように活用している。</p> <p>【教育情報の公開】</p> <p>学校の概要や教育内容、自己点検・自己評価、学校関係者評価の結果をホームページ内に公開しており、関連業界や地域との連携を、今後、より深めていく。</p>	<p>ている。</p> <p>当校は、所在地の市の唯一の看護専門学校であり、学校の現状を学生・保護者・関連業界・地域の方々に広く公開することは、学校への理解を深め、地域の方々の健康な暮らしに貢献するためにも重要である。</p>	
--	---	--

基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総評	特記事項(特徴・特色)	参照資料等
<p>【社会貢献・地域貢献】 大阪府看護協会での実習指導者・専任教員対象の講習会や他の看護専門学校講師として教員を派遣し、例年の大阪府看護教員養成講習会、環太平洋大学に加え、人間総合科学大学の教育実習生の受け入れを行っている。また、看護教育全体の質の向上に寄与するため、当校の教育活動を雑誌や講演などで広く周知をしている。</p> <p>守口市・門真市の地域における小・中学校でのキャリア教育を実施し、看護師志望者の獲得につながるよう職業講話などの活動をしている。教育課程においても、松下記念病院を中心とした地域を知り・地域に貢献できる看護師の育成を目指し、3年が経過した。学生達が地域の人々と触れ合うような教育課程を実施し、病院や施設にいる看護の対象だけでなく、地域で暮らす様々な年代の方々から、現状を教えていただき、広い視野で健康や生活を捉える機会を得ている。</p> <p>【ボランティア活動】 学生のボランティア活動では、新たな知識や協同、</p>	<p>看護師養成校という特色からも教員・学生ともに、社会貢献の必要性を常に意識し、積極的に取り組むこととする。1973年の開校以来、50年にわたり現在地である守口市において学校を運営しており、市役所、小中学校の校長会、教育委員会、保健所、老人クラブ等と交流を図り、さらなる信頼を深める関係づくりを目指したいと考える。</p> <p>R4年度は、国家試験の出題基準改定と当校の教育課程の連関や、教育実践に関する雑誌投稿に加え、学会のシンポジストとして参加するなどを行った。</p> <p>令和4年度は、松下記念病院・経営企画室との情報</p>	<p>・ ボランティア活動報告書 ・ シラバス P144、176～177、212 ※広報誌「Life」</p>

コミュニケーション力など多くの学びを得られると
考え奨励している。各学年や教員のボランティア委
員及び広報委員を中心に、実習関連施設や地域か
らの依頼や募集を統括し、多くの学生が参加でき
るよう継続的に活動しているが、R4 年度はコロナ禍
の影響から、まだ募集自体が少ない。

共有により、市民まつりや市民向け公開講座に学生
ボランティアとして参加した。コロナ禍のこの 3 年間
は、中止となったイベントも多いが、もともと実習関連
施設とのニーズや連携において、信頼関係も厚いた
め継続していくとともに、「守口・門真地区」として、視
野を広げていく。

